

電気火災を防ごう!!

赤坂消防署の昨年中の火災は33件、そのうち電気や電気製品にかかわる火災（電気火災）の火災は16件（48%）発生しました。

電気火災の中でも電気コードから発生する火災は、「火」を使用している意識がないため、火災に気付きにくく危険です。

～予防のポイント～

- 電気コードを家具の下敷きにしない
- 電気コードを束ねて使用しない
- プラグはコンセントにしっかり差込む
- プラグ・コンセントは変形等がないか定期的に点検する
- コンセントにプラグを差したら定期的に点検・清掃する
- 使わないプラグは抜いておく
- タップは決められた容量内で使用する



～住宅用火災警報器の設置・点検・交換をしましょう～

住宅用火災警報器を全ての居室・台所・階段に設置し、火災を早期に発見することで命を守りましょう。

また、古くなると火災を感知しなくなることがあるので、設置後10年を目安に本体の交換を検討しましょう。

電気火災が起きる仕組みは右下の絵をクリックして確認しましょう。

「STOP!電気火災」を読むことができます。

→
check!

